



色のはなし

2012年1月
株式会社サクセス





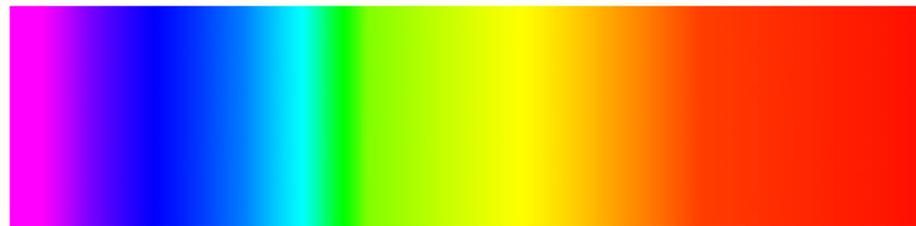
* 色とは・・・

物体が見えるということは光が当たっているからで、特定の波長を反射し、残りの波長を吸収することでその波長に対する色その物体の色と感じる。

光には波長があり、その中でも人間に見えるものを可視光線と呼び、色はその範囲で表現されます。

可視光線は虹色(赤から始まって紫で終わる)。

可視光スペクトル



* 色の三属性

色相 (Hue)・・・色みをあらわすもの

彩度 (Saturation)・・・鮮やかさの度合い

明度 (Brightness)・・・明るさの度合い

※無彩色 (白、黒、灰色)は明度のみ

同じ彩度の色でも明度が違う

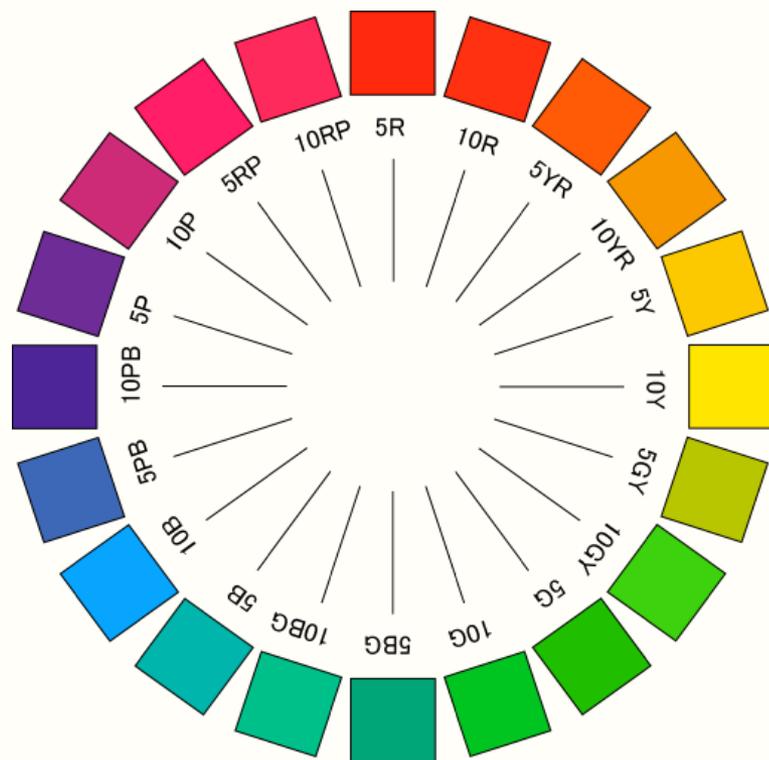


* 色相環

色相の総体を順序立てて円環にして並べたもの。
反対の位置にある色を補色(反対色)と呼び、
隣合う色を類似色と呼びます。

補色同士の組み合わせは、互いの色を
浮かび上がらせる場合に有効。(補色調和)

但し、純色や明度が同じ補色同士の場合は
ハレーションを起こし、目がチカチカします。





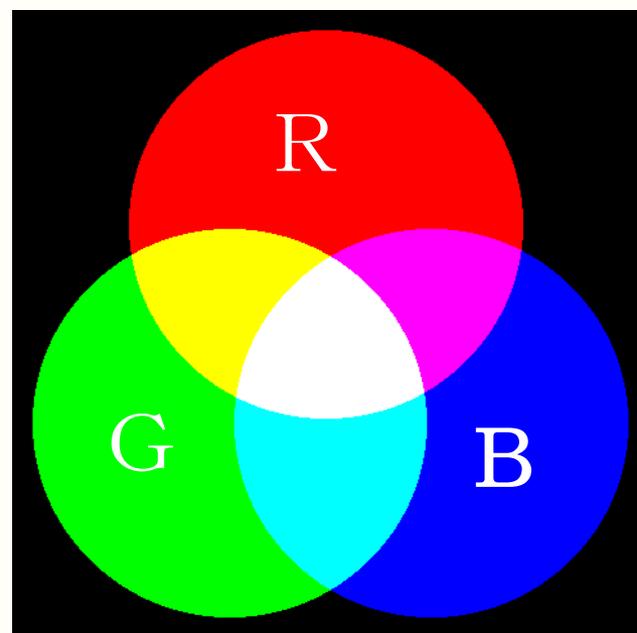
* 原色と混色

色を表現するには、色の三原色が基本要素となります。
代表的なものとして、光の三原色で合成する加法混合と、
色料の三原色で合成する減法混合があります。



* 加法混合

光の三原色(赤、緑、青)で色を合成。
カラーディスプレイにおける原色はこの3色。
混ぜ合わせる事で白を作り出すことができる。



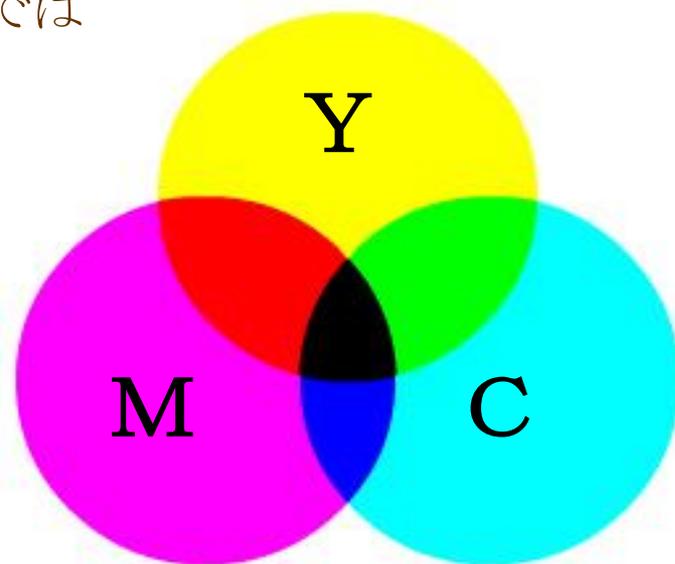
* 減法混合

色料の三原色(シアン、マゼンタ、イエロー)で色を合成。

インクなどにおける原色がこの3色。

混ぜ合わせる事で黒を作り出すことができる。

但し、理想の黒(純黒)にはならないため印刷では
黒色のインクを併用し、CMYKと呼ばれる。



ちなみに・・・

CMYKの“K”は、キープレート(KeyPlate)のK。

画像の輪郭など細部を示すために用いられた印刷版のこと。



* 色の効果と意味

人間の目から入る視覚情報の80%以上が色の情報。
色彩は人間の心理面、生理面に影響を与えます。





* 色の効果と意味

(色の作用)

誘目性

色の目立つ度合い。

一般的に無彩色より有彩色、寒色系より暖色系が認識されやすい。

進出色と後退色

暖色系は飛び出し、寒色系は引っ込んで見える。

また、無彩色より有彩色のほうが飛び出して見える。

膨張色と収縮色

赤、黄などの暖色系、白は実際より大きく見え、視認性も高い。

基石は白石と黒石では黒石の方がやや大きく作られている。

興奮色と沈静色

暖色系より寒色系のほうが落ち着いた印象になる。

また、彩度も低くなると興奮性が低くなる。

その他、明度が高い色は低い色に比べ軽い印象になるなど様々な効果がある。





* 色の効果と意味

(色のイメージ)

赤 …… 熱、太陽、情熱、元気など

黄 …… 光、躍動、愉快など

緑 …… 自然、爽やか、平和、やすらぎなど

青 …… 冷たさ、水、静寂など

紫 …… 高級、神秘、優雅など

白 …… 清潔、新しい、軽い、ピュアなど

黒 …… 暗黒、静寂、不安、悪など





* 色の効果と意味

(日本工業規格(JIS)の安全色彩)

- 赤** ……防火、禁止、危険など
 - 黄** ……注意
 - 緑** ……安全、非難、衛生など
 - 青** ……指示、用心など
 - 紫** ……黄との組み合わせで放射能を表す
 - 白** ……通路、整頓。赤、緑、青を引き立てる
 - 黒** ……文字、記号。黄、白を引き立てる
- 



* 色の効果と意味

色のイメージは理屈ではなく、生活や感覚の中に密着しているもので、配色にうまく取り入れることで相手にイメージを伝えるのに効果があります。

配色に悩んだ時など、色の効果や意味を考えてみるのもいいかもしれません。

おわり

